

## 福島空港メガソーラー事業

## 事業の概要・特徴

- 福島空港用地内に約1.200kwの太陽光発電設備を建設し、平成26年3月より運転開始を目指します。
- 多種多様なパネルの長期運用・評価を行い、県内の太陽光発電事業の支援につなげます。
- 再生可能エネルギーの体験学習の場を提供します。
- 「県民参加型ファンド」をモデル的に導入し、地域への利益還元の様子を構築します。

## 事業全体図

完成予想図

見学台（電光掲示板）

- ・ 発電所の発電量をパネルで確認することができます。
- ・ 北発電所、ソーラーパークを一望できます。

完成予想図

福島空港北発電所、ソーラーパーク

- ・ 約670kwのパネルを設置します。
- ・ 10ヵ国、30種類のパネルを設置します。

空港ターミナルビル内展示

- ・ 発電体験ができる学習教室を開催します。
- ・ 再生エネを学習できるパネルを展示します。

見学台

追尾式太陽光発電システム

太陽の動きに合わせてパネル面が移動する先進的なシステムを導入します。

完成予想図（見学台から南発電所をのぞむ）

福島空港南発電所

約500kwのパネルを設置します。

福島空港北発電所、ソーラーパーク、福島空港南発電所、追尾式太陽光発電システムの4つの発電施設を建設するとともに、体験学習の場を提供します。

次世代エネルギーパークの中核施設として、県内の他の再生エネ施設や団体と連携して、見学会・研修会等を実施し、「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現に取り組んでいきます。